

一度はしっかり
学んでおきたい

企業のための ブランドガバナンス講座

【オンデマンド配信】申込後7日間 終日視聴可能

注力ブランドの商標やドメインが、国内外の第三者に取得されていたら
その交渉の手間・多額の解決金・訴訟関連費用の負担を負えますか？



主力でない商品が想定外の大ヒット。主力商品なら経るはずの商標登録のフローから漏れ、模倣商品が乱立する事態に。



新商品のプレス発表後、商品サイトのドメイン申請したところ、すでに発表日に第三者に取得され、高価な解決金が発生。



各事業部が独自判断で商品ロゴを制作変更するため、競合と比べ統一性がない。そもそも社内にルールが存在しない…

企業ロゴは商標登録しているが、新製品のライセンスをいちいち確認はしてられない…

かつて商標/ドメインで全社的に痛い目を見たが、危機への対応が精一杯で、予防の観点は正直持てない…

トップ肝煎りの商品はきちんとライセンスを管理するが、ヒットするか分からない商品には手が回らない…

ドメインは各事業部の判断で広がっていて、全体の構造を整理しようとする部署はいない…

一度はしっかり学んでおきたい
○ブランドアセット（商標等）保護
○ドメイン防衛取得 / 保護
等の法務・交渉対策

企業方針や広告等の情報を発信する広報・経営企画・宣伝担当
広告会社の進行担当の方
におすすめの講座です

権利化できるブランドアセット保護から権利侵害への対応のイロハまで、
会社名・商品名・キャッチコピー・パッケージ・デジタル上のブランド資産を守る

画像提供:123RF

一度事が起こると、多くの時間と工数と費用が発生。 先行して仕組みを築くことで、費用も時間もセーブできる

そもそも権利化・防衛できる自社の ブランド資産が何か分からない現状

企業における企画・開発や広報・宣伝の日常業務の中で、あらゆる部門が関連する一方、そのどの部門でも、自部署の担務だと認識しづらいのが、ブランドガバナンスの領域です。具体的には、自社の事業や商材の商標登録を実務と並行して漏れなく行い、またデジタル領域ではドメインの登録と体系化を行うことで、ブランド資産を適切に管理することです。しかし、実務レベルにおいては、そもそも何が保護すべきブランド資産であるかも把握できないまま、実際に類似のロゴを使用していたり、第三者にドメインを押さえられ、高価売りつけの連絡が届いてからその必要性に気づく、というケースが後を絶ちません。

商標やドメイン等、権利侵害や交渉が 発生しやすい領域を体系的に理解

こうした事態の発生する、主な領域は商標とドメインにあります。人気商品の商標登録の細かな条件の漏れから第三者の先行登録を許したり、「第三者の登録商標であっても登録可能」で、あくまで先行登録が優先なドメイン登録で後手に回り、多額の解決金を求められるケースは多くあります。これらは一度発生すると、多額の時間と工数、費用を浪費します。そこで宣伝会議では、こうしたブランド資産を適切にガバナンスする仕組み作りを、企画・開発・広報・宣伝の実務のなかで行うための知見を体系的に身に付け、交渉にかかる費用や時間をセーブするための「企業のためのブランドガバナンス講座」を開講します。

〈講座のポイント〉

商標・ドメインの先行取得から侵害対応のイロハまで 自社ブランドを棄損しないためのブランドアセット管理方法を理解する

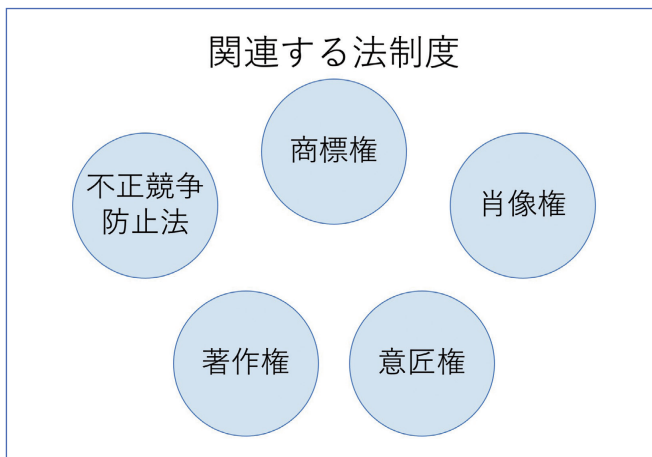
1 ブランド資産を守るための
主要法と侵害対応基礎

2 第三者の登録商標でも
登録できるドメイン防衛

3 企画開発・広報宣伝の
実務でのフロー構築

関連法の全体像

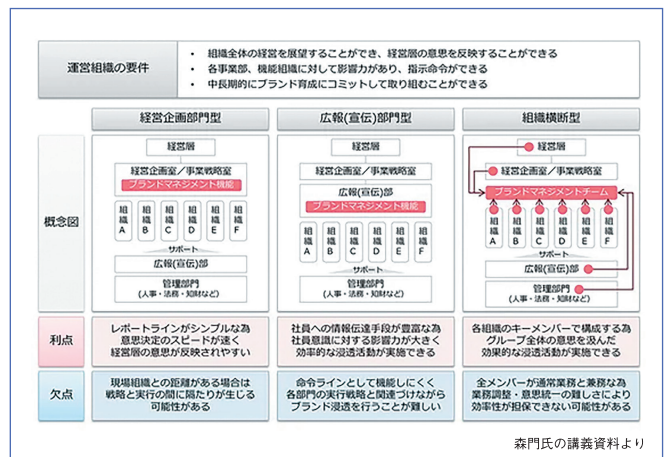
思わぬ地雷を踏まないように勘所を掴む



第三者にブランド資産を侵害された場合、また侵害を予防する際にも、前提となるのは関連法や制度への理解です。まずブランド資産の管理にまつわる関連法を押さえます。

ブランド設計との連携

攻めと守りを連携させる仕組みを築く



様々なルールを押さえた上で、実務者に求められるのは、日常の企画開発・広報宣伝の業務フローへの組み込みです。組織としてブランド資産を管理する知見を磨きます。

〈学習のポイント〉

商標・ドメインを通じた係争を防ぐための攻めと守りがしっかり身に付く

1

商標権の管理

先行商標の調査から登録、交渉のイロハまで

一般に商標権においては、他社の商標を侵害しないことに注意が欠かせますが、自社の商標を適切なタイミングと条件で申請・登録し、侵害が認められた際には早期に発見して対策を打ち、一方で自社が侵害をした旨第三者から指摘が入った場合には、相手方への影響や対応まで押さえておくべき鉄則があります。本講義ではそれらの面を体系的に学びます。

学ぶこと

- 商標の対象とその種類
- 商標権出願のフローチャートその範囲
- ブランド管理の落とし穴とその予防法
- 侵害対策 - 警告書・内容証明郵便・訴訟提起 など

保護可能なブランドアセット(例)

	商標権	不正競争防止法	著作権	意匠権
会社名/商品名	○	○	△	
キャッチフレーズ	△	△	△	
ロゴマーク	○	○	△	
イラスト	△	△	○	△
商品デザイン	△	△	△	○

岡本氏の講義資料より

侵害対策における対応方法(攻め)



岡本氏の講義資料より

2

ドメインの管理

広告表現における「縛り」を整理する

ドメインの防衛取得とその体系化は、企業規模が大きくなればなるほど重要なテーマとなります。多額の開発費を掛けた重点商品のドメイン候補が第三者により押さえられると、その交渉にかかるリソースは大変なものです。講義では、どのようなドメインをどのようなタイミングで取得し、いつまで管理し、誰が費用を負担するのかといったガイドラインの構築ノウハウを体系的に学びます。

学ぶこと

- 第三者とのドメイントラブルの代表例
- ウェブサイトのURL表記体系の整理
- ドメイン管理・防衛取得の考え方とノウハウ
- ウェブサイト/ドメインのガイドラインの策定 など

ブランディングの構成要素(例)

製品(サービス)	・製品自体のデザイン、性能、信頼性
宣伝広告	・宣伝広告に対して得るイメージ
販促	・店頭展示、キャンペーン、チラシ
顧客対応	・接客態度、コールセンター
ネット対応	・ドメイン体系、URL体系、トーンアンドマナー、ユーザビリティ等

黒尾原氏の講義資料より

運用時のマネジメントポリシーを まとめルール化したものがガイドライン

ガイドライン例

- ・ドメインガイドライン
- ・ウェブサイトガイドライン(構築時・ページ制作時・運用時他)
 - ーデザインガイドライン
 - ーアクセシビリティガイドライン
 - ーその他関連ガイド(お問合せ、ユーザビリティ、リンクポリシー……)

黒尾原氏の講義資料より

3

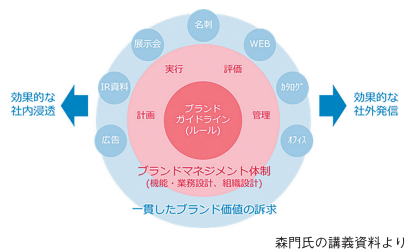
企業におけるフローの構築

ブランド提供価値を起点に自社ブランドをマネジメントする

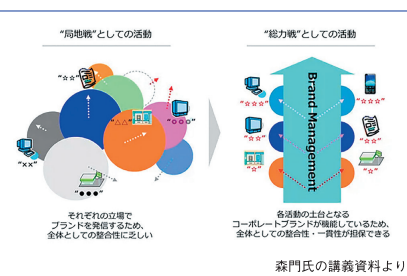
企業ではブランド資産の管理に先立ち、日々の業務でブランドの設計から遂行計画、てこ入れが必要な際のリニューアルまで、さまざまな「攻め」の施策が打たれています。問題は、こうしたスピーディな攻めの動きと連携する守りの仕組みをどう築くかになります。本講義では、様々なブランドマネジメント組織の設計、リブランディング、ブランドガイドライン規定の策定を手掛けた講師にそのノウハウを学びます。

学ぶこと

- 長期的なブランド育成ができるブランドマネジメント組織の設計
- 制作物やサイト、展示会の世界観の統一
- デザインを言語的・視覚的に規定するブランドガイドラインの作成
- 各部門の意見を吸い上げながら、適宜ルールを調整していく際のポイント など



森門氏の講義資料より



森門氏の講義資料より

カリキュラム

時間	テーマ	講義内容	講師
第1部 約120分	自社ブランドを棄損しないための ブランドガバナンス	主なブランドアセット(文字・デザイン・その他)/関連する法制度/商標の対象とその種類/効力が及ぶ範囲/不正競争防止法・著作権・意匠権/全体のフローチャート/商標権出願の手順/ブランド管理の落とし穴/侵害対策・攻め/侵害対策・守り	岡本 健太郎氏
第2部 約120分	ブランド価値を高める デジタルガバナンス	軽視できないドメイン管理・運用/第三者とのドメイントラブル/いったん事が起こると多くの時間・労力・費用が発生/ウェブサイトのURL表記体系/ドメイン管理・防衛取得/運用のマネジメントポリシー、ガイドラインの策定/ウェブサイトのガイドラインについて	黒葛原 寛氏
第3部 約120分	ブランド全体としての整合性・ 一貫性を担保するための ブランドマネジメントとは	ブランドマネジメントの重要性/ブランドの価値観・世界観を一貫させる/ブランドマネジメント組織の設計/制作物を作る際に参照すべき、ブランドデザインのルールブック「ブランドガイドライン」/ブランドガイドライン規定を策定・運用する際のポイント/色・背景色・大きさ・余白などの細かな規定/代表的な制作物(広告、IR資料、オフィスデザイン、展示会など)のデザイン規定	森門 教尊氏

※講師・カリキュラムは都合により変更・追加となる可能性がございます。最新のカリキュラムはwebサイトからご確認ください。

講師プロフィール



岡本 健太郎氏

弁護士通法律事務所
弁護士・ニューヨーク州弁護士/
証券アナリスト (CMA)
神戸大学大学院 客員教授

弁護士、NY 州弁護士、証券アナリスト。ロイター通信社(日・英)などを経て、国内外のアート、エンタテインメント、デザイン法務に従事。神戸大学大学院客員教授、Japan Contents Blockchain Initiative 著作権流通部会 部会長、アカキ社外監査役なども兼務。月刊『宣伝会議』に「著作権 Q&A」を連載中。近著に『エンタテインメント法実務』、『スタートアップの法律相談』(いずれも共著)など。趣味はリズムタップ、音楽鑑賞(70's Soul)と茶道(松尾流)。



黒葛原 寛氏

株式会社トランスピリット 代表取締役
福岡女学院大学 非常勤講師

ビジュアルコミュニケーションを専門領域とし、広告・宣伝、商品企画、マーケティング、ブランディング等で実績と経験を積む。1995年ソニー株式会社内で日本初のインターネット専門部署を立ち上げ、全世界ソニーグループウェブ 6,000 サイトのガバナンスを統括。日本主要企業に対し、インターネット活用啓蒙活動を続け、インターネット時代シフトを達成後コンサルティング会社起業。九州芸術工科大学 芸術工学部画像設計学科(現九州大学 芸術工学部)卒業、1979年~2013年 ソニー 宣伝制作部、映像ソフトウェアセンター、ウェブサイトマネジメント部統括部長。



森門 教尊氏

株式会社博報堂
コンサルティング パートナー

国際基督教大学教養学部卒業。外資系コンサルティングファームを経て、博報堂に入社。博報堂ブランドコンサルティングの立ち上げに参画。成熟産業における事業変革モデル創造・中長期成長ビジョン戦略立案やブランド再生を支援。その後はデジタル戦略からウェブサイト構築までを一貫して扱う博報堂ネットプリズムに参画。現在はブランディングの視点から事業変革プログラム/プラットフォーム構築等に携わる。

講座概要

- 視聴期間：申込後7日間 終日視聴可能
- 視聴方法：宣伝会議オンライン内でオンデマンド配信
- 受講料金：54,000円(税込 59,400円) ※申込金5,000円(税込 5,500円)含む
- 受講対象：宣伝・広報・経営企画・営業企画部など、企業の情報発信に携わる方。広告会社の営業・ディレクターの方。

お申込みはWebから またはこちらまで
FAXにてお送りください

03-3475-3033



WEB申込 → すぐ受講いただけます

FAX申込 → 受講環境の設定に関する手続きのため 1週間ほどお時間がかかります

企業のためのブランドガバナンス講座 お申込者情報記載欄	会社情報	会社名	TEL		
		住所 〒			
	申込者様	氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
		Eメール			
	派遣責任者様	氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
		Eメール			
申込形態		①企業申込(請求書を発行します) ②個人申込		宣伝会議からの情報 ①いる ②いない ③すでに届いている	

お振込み先 三菱 UFJ 銀行 青山支店 普通 1145602 口座名義:株式会社宣伝会議

※受講は受講者本人に限ります。他人に貸与・譲渡することはできません。尚、同一の講座を別の方を受講いただくことは禁止としております。※お申込み後のキャンセルは原則承っておりません。※万一、受講前に受講予定の方の参加ができなくなった場合は、事務局までお問合せください。同一講座の受講中において、参加者の途中変更はできません。※一旦納入された申込金・受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由であっても払い戻しや次期への振り替えはできません。※天候不順によるアクシデントや講師の都合、受講者数が一定数を下回った場合等、諸事情により直前に開講日程が変更・中止となる場合がございます。その際、交通・宿泊費等の保証はできませんのでご了承ください。※弊社と発注者は互いに暴力団、及びその他の反社会的勢力に該当しないことを表明・確約します。万一、上記に反していることが判明した場合には、直ちに無条件で本契約を解除します。※弊社と同様の教育講座を開催している企業、人材紹介業、受講生への営業・勧誘等を目的とする受講等に関するお問い合わせは、審査の上、お申し込みをお断りする場合がございます。また、お申し込みから審査までの間に、ご請求書類の発送など、決済処理の進行が行われる場合がございます。あらかじめご了承ください。※本申込書により宣伝会議が取得した個人情報はお申し込みお断り手続きや各種連絡、講座運営、ダイレクトメールなどの方法で出版物や講座、イベントのご案内等をお送りするために利用します。プライバシーポリシー(https://www.sendenkaigi.com/privacy/)をお読みいただき、同意の上、お申し込みください。

■お問合せ

株式会社宣伝会議 〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号
TEL: 03-3475-3030 E-mail: info-educ@sendenkaigi.com www.sendenkaigi.com/class/

